

プライバシーに配慮したAEDの使い方

パッドを

素肌に直接貼り付ける

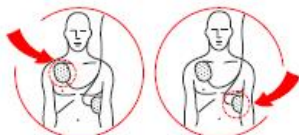
ことができている場合は、ブラジャーを外す必要はありません。

服の下で下着をずらして、右の鎖骨の下と左のわき腹のあたりに貼ることで対応できます。

金属製品（ブラジャーのワイヤー部分、ネックレス等）はパッドに触れさせないようにしてください。

パッドに触れていなければ、ネックレスは無理に取り外す必要はありません。

AEDのパッドに描かれているイラストをご参照ください。



パッドを貼った後に上から上着やタオルなどをかけても大丈夫です。

その他の注意事項

- * 汗などで胸が濡れている場合は、水分を拭き取ってください。
- * 電極パッドを貼る部分に貼り薬（湿布等）が貼られている場合は、貼り薬を剥がしてください。
- * ペースメーカー等が植え込まれている場合（胸に硬いこぶのようなでっぱりが見える）は、このでっぱりを避けて電極パッドを貼ってください。
- * 車内など、揺れている場所では使用しないでください。

【出典】東京都多摩府中保健所

【監修】公益財団法人日本AED財団



倒れている人にかぶせて使うこともできます。

重要なことは電気ショックの時間を遅らせないことです。

電気ショックが1分遅れるごとに救命率は10%ずつ低下します。